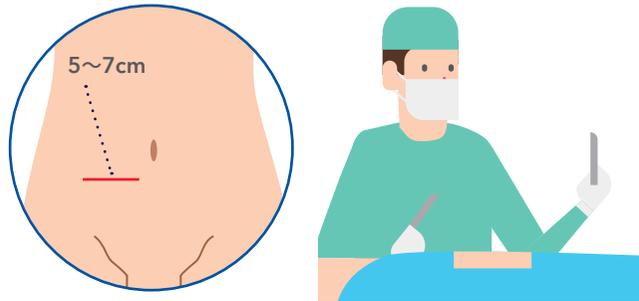


Q4. どのような治療方法がありますか？

自然治療は期待できないため、原則として手術を行います。
ヘルニアバンドは、臓器の癒着や壊死の危険性があり、勧められません。手術には大きく分けて2つの方法があります。

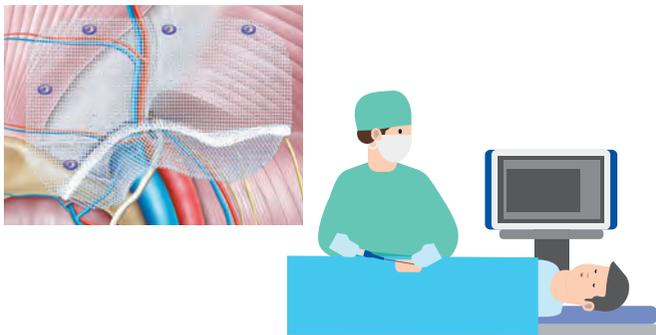
鼠径部切開法

ふくらんでいる方の鼠径部の皮膚を切開して修復します。
巨大なヘルニアや前立腺手術等を受けたことのある方に選択されることが多い手術です。メッシュ(医療用人工シート)を使う方法と使わない方法があります。



腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術

ポートと呼ばれる筒を用いて、カメラや手術器具を体内に入れて手術を行います。腹膜と筋層の間にメッシュを入れて固定し、ヘルニア門を閉鎖するとともに腹壁を補強します。
腹腔鏡下ヘルニア修復術は鼠径部切開法と比較して、キズが小さく術後疼痛も軽く、社会復帰が早いという長所があります。ただし、本手術に熟練した外科医が居る施設で受けることが推奨されます。患部へ到達する方法が大きく分けて2種類あります。



鼠径ヘルニアは
腹部のヘルニアの90%を占め、
日本では年間16万人の患者様が
手術を受けています。

本内容はInternational guidelines for groin hernia management
(The Hernia Surge Group 2018年) および
鼠径部ヘルニア診療ガイドライン(日本ヘルニア学会2015年)
社会医療診療行為別調査(厚生労働省2016年)を参考にしています。

お問合せ先



Medtronic

コヴィディエン ジャパン株式会社
TEL:0120-998-971

medtronic.co.jp

mt-si-ot-sokei(03)
2204.sho.SI-A745

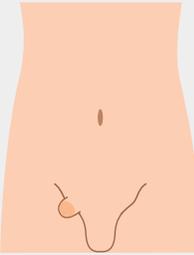
Medtronic

そけい
成人鼠径ヘルニア
(脱腸)



監修：
医療法人 原三信病院
副院長 日帰り手術センター長
江口 徹 先生

Q1. こんな症状はありませんか？

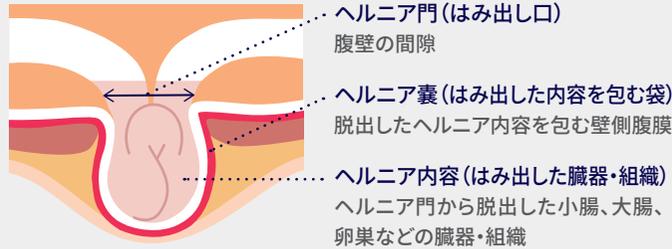


- 立ったとき足の付け根にふくらみがある
- 下腹部に違和感・不快感がある
- 横になったり、手で押さえると引っ込む
- 下腹部に強い痛みがあり、吐き気を感じる

それは鼠径ヘルニアです。
一般的には脱腸と呼ばれています。

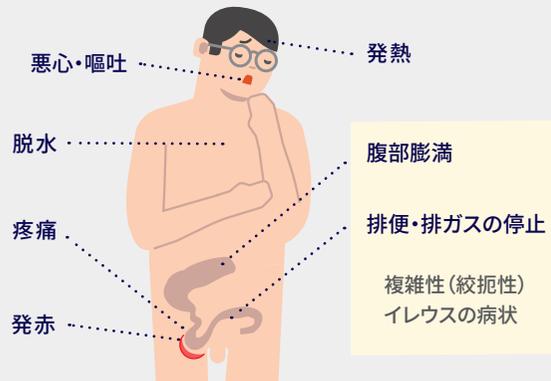
Q2. 成人鼠径ヘルニアって何？

ヘルニアとは臓器や組織がもとあった場所から脱出している状態を指します。鼠径部には元々弱い部分があり、そこから腸管や卵巣・膀胱などが皮下に飛び出していきます。



Q3. 放っておいても大丈夫ですか？

ふくらみがどんどん大きくなって、目立つようになったり、痛みなどで日常生活に支障がでます。硬く腫れて、戻らなくなり、強い腹痛や吐き気などの症状がでることがあります。そのような状況を「嵌頓ヘルニア」と呼び、時間が立つと脱出した腸が腐ることがあります。そのような場合は、ただちに病院を受診してください。



Q5. 鼠径部切開法はどんな手術ですか？

組織縫合法(メッシュを用いない術式)

自己の組織を縫合し、ヘルニア門を閉鎖する術式です。様々な術式が考案されてきましたが、現在、日本ではマーシー法やマックベイ法が多く行われています。ヘルニア門が非常に小さなもの、妊娠出産の予定のある方、メッシュを用いると感染の恐れのある場合に行われます。再発率がメッシュを用いる術式より高く、術後の痛みが長く続く場合があります。

メッシュ法(メッシュを使う術式)

ヘルニア門の閉鎖および鼠径管後壁の補強をメッシュで行います。様々な材質・形状のメッシュが普及しています。海外のガイドラインではリヒテンシュタイン法が推奨されています。ここではマジックテープのように自ら接着する半吸収のメッシュを用いたリヒテンシュタイン法を紹介します。



縫合固定は必須ではなく、簡便で手術時間も短く、術後疼痛の軽減につながるという報告もあります。

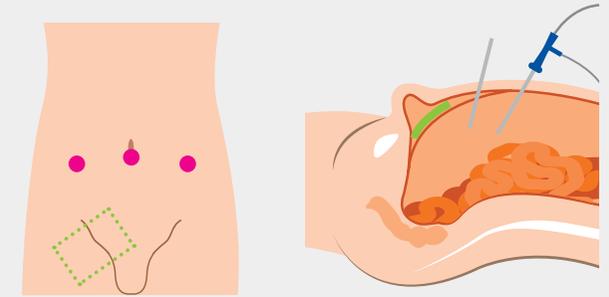
短期滞在手術

鼠径ヘルニア手術は健康保険制度上、短期滞在手術に分類されます。麻酔の進歩とメッシュを用いることにより、麻酔の醒めが早く、入院期間が短くなりますので、通常的生活への復帰も早くなるためです。全国のクリニックや病院が併設する日帰り手術センターでの日帰り手術をはじめ、その他の施設においても仕事や家庭への影響をできるだけ少なくするようなスケジュールで手術を受けることができます。詳しくは担当医へご相談ください。

Q6. 腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術はどんな手術ですか？

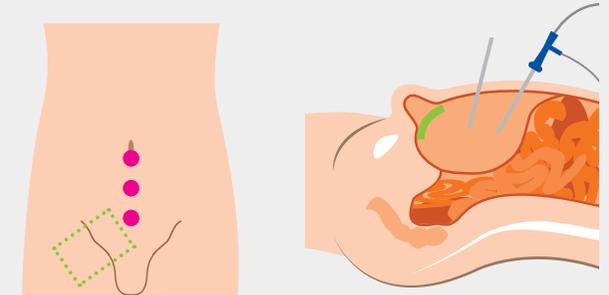
腹腔内到達法(TAPP法)

お腹の中に二酸化炭素ガスを入れて、ふくらませます。腹膜を切開し、メッシュを設置します。



腹膜前到達法(TEP法)

患側下腹部の筋層と腹膜の間に、二酸化炭素ガスを入れて、スペースを作り、メッシュを設置します。



漿液腫について

鼠径部ヘルニアの手術を受けた後に患部が手術前と同じように盛り上がり、再発したように見えることがあります。主に腹腔鏡下手術の後に起こることが多い症状で、漿液腫と呼ばれます。これはヘルニアによって押し広げられていた空間に液体が貯留した状態です。1、2か月で自然に体内に吸収されますので、経過を診ることが多いです。まれに長期にわたり腫れが続くことがあり、液体を抜く処置が必要となる場合があります。